

下出祐太郎（しもでゆうたろう）

漆芸家・詩人 1955年京都市生まれ

下出蒔絵司所3代目 学術博士・伝統工芸士

即位礼や大嘗祭の神祇調度蒔絵や、第61・62回伊勢神宮式年遷宮御神宝を手がける

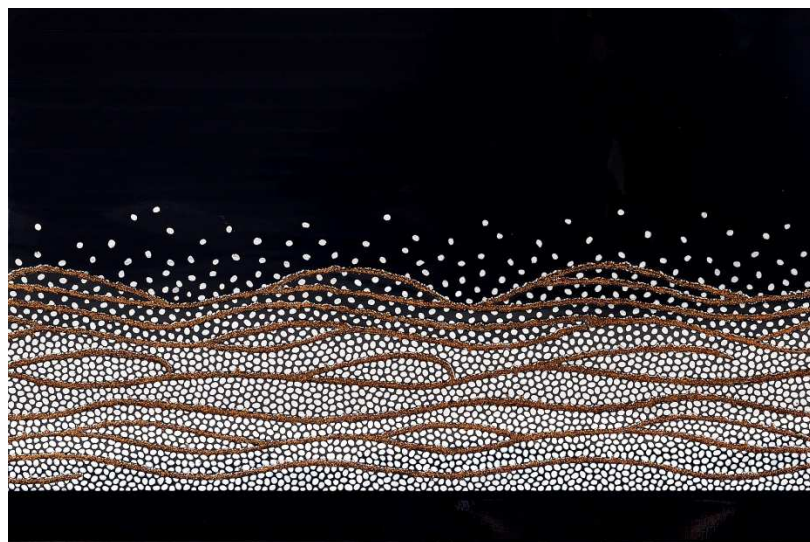
京都迎賓館では水明の間の飾り台「悠久のささやき」等を制作

第14回～第37回日展24回連続入選 以後フリーで活動

京都府伝統産業優秀技術者表彰等受賞多数

京都産業大学文化学部京都文化学科教授

後継者育成に力を注ぐ一方、漆芸の研究、文化財の保存修理、漆や文学の講演、
執筆活動にも取り組む



京都迎賓館水明の間飾り台 プラチナ蒔絵「悠久のささやき」